

# 2016. 6

(島根県道づくり調整会議)

## 道づくりだより 第100号



### -Contents-

1. 一般県道黒沢安城浜田線（第二浜田ダム付替県道）  
平成28年6月27日全線供用開始（道路建設課）
2. 「ちゅうごく街道交流会議」が開催されました！（高速道路推進課）
3. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ（道路維持課）
4. 出雲大社参詣道「神門通り」1工区の整備が完了しました（都市計画課）
5. 【第100号特別編】「道づくりだより」第100号までの歩み（道づくり調整会議事務局）

# 一般県道黒沢安城浜田線 (第二浜田ダム付替県道)

平成28年6月27日  
全線供用開始



## 事業の概要

昭和58年、63年の梅雨前線豪雨による洪水被害を受け、浜田市中心部と浜田川沿いの地域の治水・利水対策を目的として第二浜田ダム建設及び浜田ダム再開発がおこなわれました。

この事業に伴い、浜田市三階町から河内町にかけての区間の県道が水没するため、ダム事業により付け替えることとし、この度付け替え区間が全線供用開始しました。

## 開通状況



(一) 黒沢安城浜田線  
道路規格: 3種4級  
設計速度: 40km  
車線数: 2車線(片側1車線)  
幅員: 車道5.5m(全幅7.0m)  
一部区間は歩道整備  
事業費: 約70億円



狭くてカーブも多く、見通しも悪いので、危ない!

整備前



移動時間は半分に

2車線に広がり、カーブも緩くなったので、安全・安心



## 「ちゅうごく街道交流会議」が開催されました！

平成28年6月6日（月）に、「ちゅうごく街道交流会議」がKKRホテル広島で開催されました。

この会議は、中国地方の「日本風景街道」と「夢街道ルネサンス」の活動で、各地域で活躍されている活動団体と関係機関が一堂に会し、各地区が抱える課題や解決に向けた取り組み事例などについて意見交換を行うものです。島根県からは、今年3月に新規認定された浜田市の『夢街道“浜田城…江戸から明治へのみち”』（NPO法人・浜田芸術文化のまちづくり推進協会）に認定証が授与されました。今回の受賞で、島根県内の「夢街道ルネサンス」の認定箇所は9箇所となりました。

会議では、「夢街道ルネサンス」並びに「日本風景街道」の新規認定計3箇所からの活動報告や、島根大学・作野教授をコーディネータにパネルディスカッションが行われ、各地の熱心な活動の紹介や意見交換等が行われました。

（山下会長挨拶）

（認定証授与：NPO浜田芸術文化のまちづくり推進協会）



（活動報告：NPO浜田芸術文化のまちづくり推進協会）

（パネルディスカッション）



## 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

### ◇毎年8月は、「道路ふれあい月間」です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

### ◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場において広報誌、ホームページなどで応募を呼びかけています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。今年度は、「道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。」をテーマに募集がありました。

◇平成28年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

#### ○最優秀賞（3作品）

友だちと げんきいっぱい 歩こうよ

栃木県 小林 悠希さん（小学生の部）

道きれい そんな所は 人きれい

秋田県 高橋 昂太郎さん（中学生の部）

ありがとう 生きる力を くれる道

神奈川県 曾田 誠一さん（一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「道きれい そんな所は 人きれい」を今年度の代表標語とします。

#### ○優秀賞（6作品）

##### 【小学生の部】

『あんぜんに あるけるみちは たからもの』

宮崎県 壺岐 心音 さん

『この道を 歩けば心も 歩き出す』

神奈川県 櫻田 歩維 さん

##### 【中学生の部】

『道渡り ほんの一礼 あたたまる』

佐賀県 加茂 三幸 さん

『ぴかぴかの 道路にひびく 笑い声』

佐賀県 樹下 あい さん

##### 【一般の部】

『この道で はじまる私の 物語』

埼玉県 吉野 信幸 さん

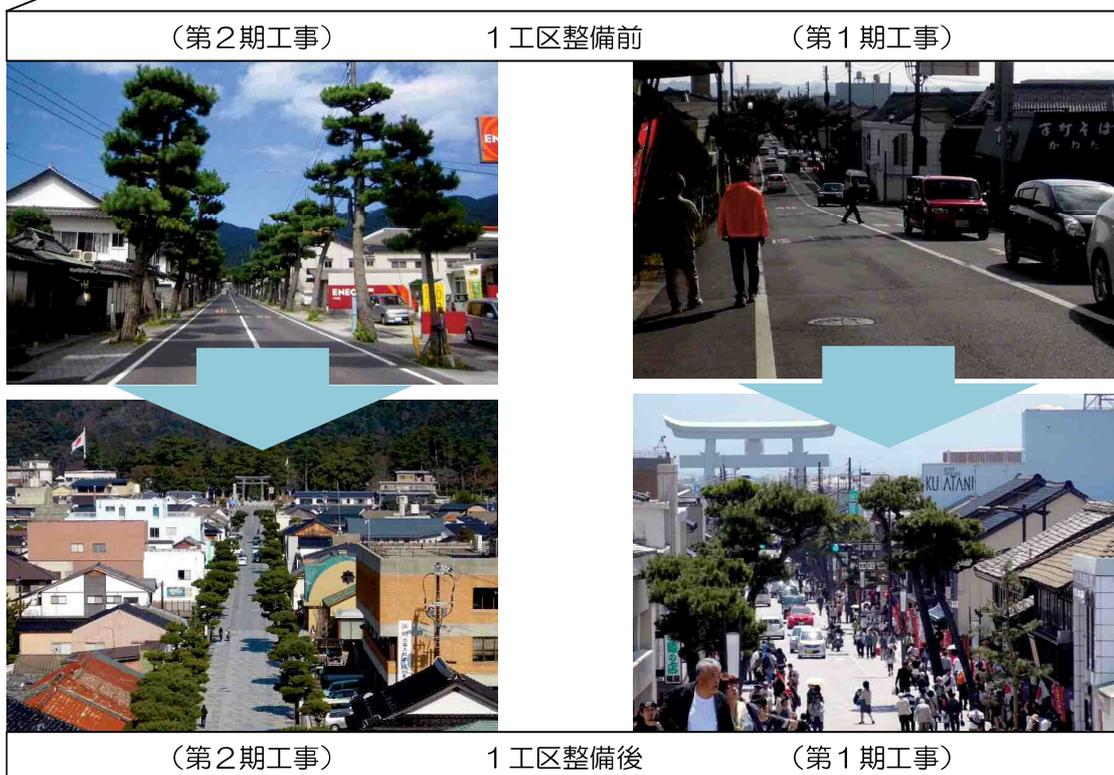
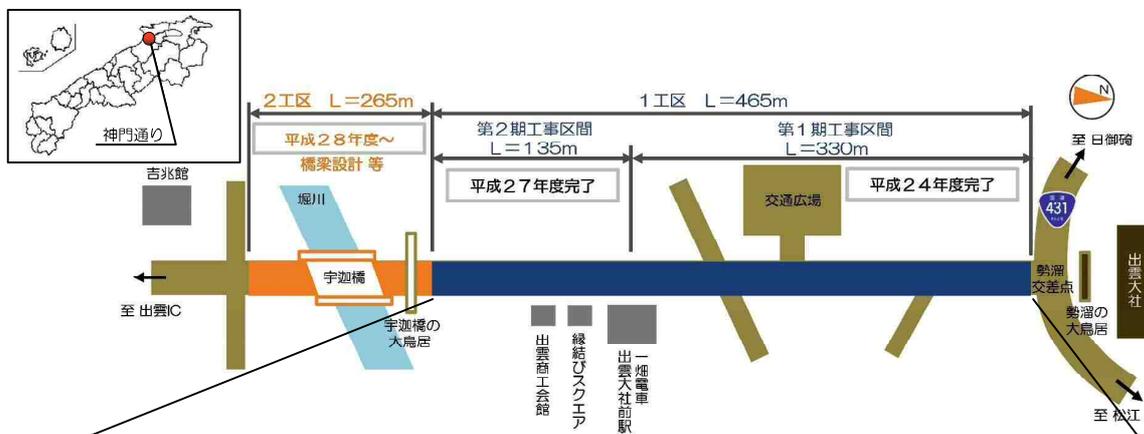
『あいさつも お歌も靴も 跳ねる道』

神奈川県 川村 雅恵 さん

## 出雲大社参詣道「神門通り」1工区の整備が完了しました

出雲大社の参詣道である「神門通り」(一般県道斐川出雲大社線)は、出雲大社の門前にふさわしい風格とにぎわいのある通りへと再生させるために、沿道の石畳舗装・無電柱化など、街路事業による整備を行っております。本殿遷座祭に合わせ進めた第1期工事(勢溜交差点~出雲大社前駅)に続き着手しておりました第2期工事(出雲大社前駅~大鳥居付近)が、昨年度末に完了し、1工区の整備を終えることができました。

今年度からは、神門通り線の2工区(大鳥居付近~吉兆館交差点)についても事業に着手し、新宇迦橋の橋梁構造や施工方法について具体的な設計・検討を行い、工事に向けた準備を進めてまいりますので、今後とも事業へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

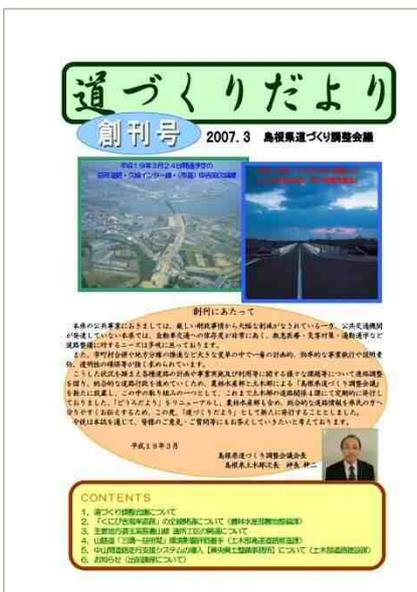


【第100号特別編】「道づくりだより」第100号までの歩み

平成19年3月、これまで土木部の道路関係4課で定期的に行っていた「どうろだより」をリニューアルして始まった「道づくりだより」ですが、多くの皆様に支えられること約9年、遂に節目の第100号を発刊することとなりました！

そこで今回は、これまで発行してきた「道づくりだより」の表紙99枚を1枚にまとめ、第100回記念号の表紙にしてみました。こうしてみますと、改めてこれまで多くの「道づくりだより」が発行され、様々な情報発信をしてきたことを実感します。

さらに第100号特別編と題しまして、これまで発行してきた全99号の中からいくつか選定し、これまでの「道づくりだより」の歴史を振り返ってみたいと思います。



【創刊号】平成19年3月発行

記念すべき創刊号の表紙を飾ったのは、同月に同時開通した「益田道路・久城インター線・(市)中吉田久城線」と「斐川西農免農道(くにびき海岸道路)」でした。

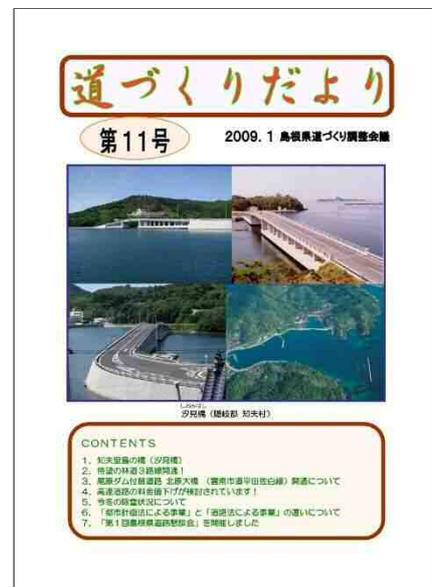
「道づくり調整会議」とは、土木部と農林水産部それぞれで整備している県道や農林道、臨港道路等について、連絡調整を図り総合的に道路行政を進めていく目的で設立されました。その中の取り組みの一つとして、農林水産部所管の道路事業も含めた「道づくりだより」を新たに発行することとなりました。

【第11号】平成21年1月発行

こちらの表紙は、知夫里島(知夫村)の知夫漁港で臨港道路の一部として整備された「汐見橋」です。

臨港道路としてだけでなく、島民の重要な生活道路でもある汐見橋は、「隠岐の景観づくりガイドライン」に準拠した設計・施工が施され、みごとに海の青、山の緑などの豊かな自然と調和し、知夫漁港のシンボリック存在となっています。

その甲斐あって、汐見橋は島根県都市計画課が主催する第16回島根県景観賞の土木施設部門で奨励賞を受賞しました。



【第21号】平成21年11月発行

道づくりだより

第21号

2009.11 高根県道づくり調整会議



【C~出雲】C間ウォーキング大会で、高速道路上を歩く参加者

CONTENTS

1. 山陰自動車道 豊川IC~出雲IC 開通
2. 9月に予定していた高速道路の早期開通を要望
3. 長尺バスなどの一部利用開始について
4. 『都市計画道路 出雲市駅前光景』の完成式が行われました
5. 今後の調整体制について

車が走るはずの道路に大勢の人が…??こちらは平成21年11月28日に開通した山陰自動車道斐川IC~出雲ICの開通イベントとして行われたウォーキング大会の様子です。

このイベントには約1,800人ももの参加があったそうです。最近では、このようなイベントの開催も珍しくありませんが、特に自動車専用道路である高速道路をウォーキングできる機会は滅多にありません。

このようなイベントに参加されたことで、より一層道路に関心や愛着を持っていただければと思います。

【第24号】平成22年2月発行

こちらは、歴代の「道づくりだより」の中で唯一、絵画が表紙となった第24号です。当時施工中の松江第五大橋の工事現場近くの朝酌小学校、津田小学校の児童を招いて写生大会が開かれ、土木部長賞、道路建設課長賞、高規格道路事務所賞の3点の入賞作が選ばれました。

連なる橋脚やその近くで作業する重機、それらの背景に見える建物まで忠実に力強く描かれています。普段はなかなか近寄れない重機や建設中の構造物を間近で見れるよい機会になったのではないのでしょうか。

道づくりだより

第24号

2010.2 高根県道づくり調整会議



松江第五大橋建設 写生大会  
【発表者】朝酌小学校 津田小学校 朝酌小学校 津田小学校 朝酌小学校 津田小学校  
賞状名「橋くへ伸びる橋脚」津田小学校 長尾 石橋亭輝さん

CONTENTS

1. 松江第五大橋建設写生大会の表彰式が行われました
2. 『山陰自動車道や浜田自動車道が高速道路無料化社会実験の対象道路に選りまされた』  
①筆者が江津サービス施設等アンケート調査実施中!
3. 砂子歩道が全線開通します
4. 国土交通省北九州プロジェクト支援交付金「豊南地区」の紹介
5. 「道路ふれあい月間」推進協議会の開催

【第44号】平成23年10月発行

道づくりだより

第44号

2011.10 高根県道づくり調整会議



森畔セーピアロード(飯南町)

Contents

1. 農林の森林園/小田線が紹介 (高根県道)
2. 次世代の橋脚が完成しました (高根県道)
3. 山陰自動車道建設促進市民委員会  
国土交通省に山陰道建設促進の要望を行いました。(高根県道)
4. 山陰自動車道建設促進高根県民相談センターが開業しました。(高根県道)
5. 全国の道路の規制情報、日本道路交通情報センターが便利です。(高根県道)



一見すると「なぜ道づくりだよりの表紙が森??」と思われるかもしれませんが、こちらは県民の森(飯南町)内に位置する林道小田線周辺の森林セーピアロード。れっきとした道(ロード)です。

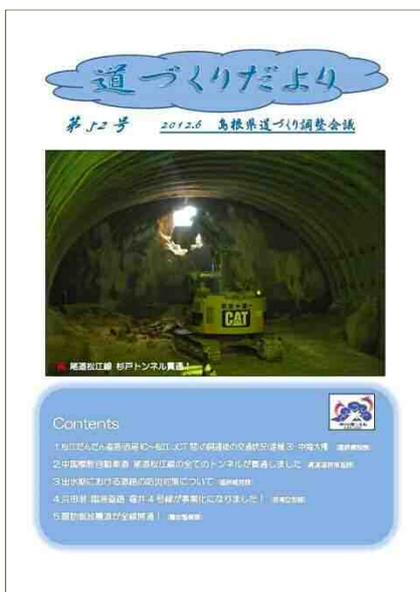
筆者も含め、多くの方が道路と聞いて真っ先に思い浮かぶのは自動車が通る舗装済みの道だと思えますが、同じ道でもこちらは「癒しと健康」をテーマとした遊歩道です。果たす役割はそれぞれ違いますが、どちらも私たちに必要な道であることは間違いありません。

【第47号】平成24年1月発行

こちらの表紙は、真っ白な雪に覆われた国道186号（浜田市金城町地内）の除雪作業の様子です。

除雪業務は、冬期における地域住民の方々の生活路線及び公共交通等の交通確保のために必要不可欠な業務です。一方でこの業務は、天候の具合に大きく左右されるため、早朝から深夜にかけて不規則に実施する必要があり、直接現場で従事する重機オペレーターの方々の苦労は大変なものがあります。

このような方々のおかげで、私たちは降雪時でも道路を利用できるのです。



【第52号】平成24年6月発行

暗い坑内に差し込む一筋の光。こちらは尾道松江線にある計27のトンネルのうち、最後に貫通した杉戸トンネル（雲南市）の貫通時の写真です。

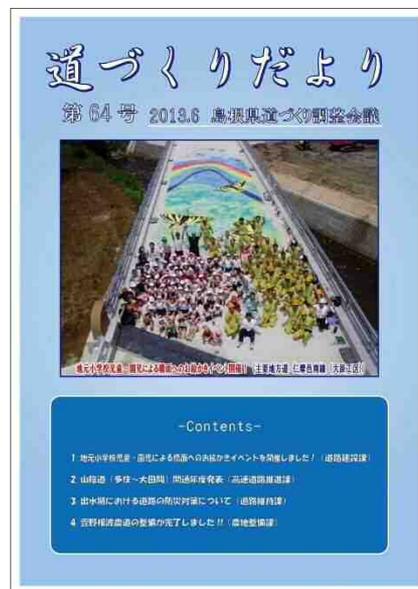
筆者も一度トンネル貫通の瞬間に立ち会ったことがあります。重機の音が響く暗い坑内に突然光が差し込むとともに心地よい風が吹き抜け、滅多にできない経験に感動しました。

この年度末に吉田掛合IC～三次JCT・IC間が無事開通し、松江玉造IC～広島IC間が約2時間15分で行けるようになりました。

【第64号】平成25年6月発行

このカラフルな橋は、仁摩邑南線大原工区で行われた『お絵描きイベント』後の新大原橋です。地元の小学校、幼稚園及び保育園の児童・園児が舗装前のコンクリート床面上にクレヨンで思いのままにお絵描きをしました。

児童・園児たちが描いた絵は、この上から舗装するため開通後は見ることはできなくなりますが、橋とともにいつまでも保存されます。工事完成後、児童・園児はこの橋を渡るたびに、きっとこの日の楽しい出来事が思い出されるのではないのでしょうか。



# 道づくりだより

第76号 2014.6 島根県道づくり調整会議



### -Contents-

1. (一) 外周高松幹線道路工区「2車線改良・歩道整備」が完成しました (道路建設課)
2. 「浜内中環道・山陰路開道アワード2014」が期間限定で実施されました (高速道路推進課)
3. 「道除るれあひ月間」推進協議決定のお知らせ (道路維持課)
4. 第26回企業立地コンクールで「神門通り線」が「優秀賞」を受賞しました (都市計画課)
5. 新しい名所として注目度UP!!「ベタ踏み坂」～江島大橋～ (港湾空港課)

【第76号】平成26年6月発行

以前、車のCMで一躍有名になった通称「ベタ踏み坂」、松江市と鳥取県境港市を結ぶ臨港道路「江島大橋」です。水面からの最高点は44.7mもありますが、このような高さになった理由は、橋の下を5,000t級の大型船舶が航行できるクリアランスを確保したためです。

この写真を見ると、かつて存在したといわれる出雲大社の高層神殿のようですね。

(右写真)



【第91号】平成27年9月発行

こちらは、平成27年9月に一部開通した国道432号大庭バイパス（松江市大庭町）の空撮写真です。

大庭バイパスの事業は土地区画整理事業と連携して実施しており、バイパス開通区間には既に店舗の立地が進むなど、多くの利用者で賑わっています。また、バイパス東側（表紙向かって右側）は主に住宅地として整備が予定されています。

道路整備の効果には、時間短縮や交通の円滑化、交通安全等が挙げられますが、このように企業立地による地域経済の活性化といった面も期待されます。



2015.9

(島根県道づくり調整会議)

道づくりだより 第91号



### -Contents-

1. 一級国道432号 大庭バイパスの一部が開通しました (道路建設課)
2. 山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会が開催されました (高速道路推進課)
3. 鳥取県道路情報の過半数公開 (道路維持課)
4. 都市計画道路「大庭前町線(3工区)」の供用開始 (都市計画課・出雲市まちづくり推進課)

## 編集後記

「第100号特別編」、いかがだったでしょうか。

今回は、筆者の個人的判断で『表紙が印象的なもの』という観点で選定しました。まだまだ紹介したい記事がたくさんありましたが、紙面の関係で全部紹介できないのが残念です。

これからも「道づくりだより」を通じて、道路の開通・イベント情報や事業紹介、その他様々な情報を広く提供していきます。

道路に関する情報提供もお待ちしています。ぜひ取り上げたい記事がありましたら島根県 高速道路推進課 道路企画調査グループまでご相談ください。

めざせ！ 第200号！！